

# 専徳寺報

第409号

平成26年2月26日発行

浄土真宗本願寺派  
専徳寺

http://sentokuji-iwakuni.net/

〒740-0044 岩国市通津2764  
☎0827-38-1124 FAX38-1000

専徳寺

検索

寺報は家族みんなで読みましょう。

専徳寺納骨堂受付中

## 春季讚仏会法要

御案内

すがすがしい春の季節、楽しいご法座をひらきます。  
どうぞご来寺お待ちしております。

日時

3月12日(水)	昼 1時30分～3時30分
	夜 7時30分～9時
13日(木)	昼 1時30分～3時30分

講師

行信教授ぎょうしん講師・本願寺輔教

天岸 浄圓師てんがし (大阪)

●参拝セット(念珠・聖典・式章・聴聞カード)を用意ください。



法話・人・言葉

見えないほこりみえないほこり (罪悪深重ざいあくじんじゅう)

森田真円しんねん

二十歳前後のころでしたか、ある先生から、「悪いとわかっていながらする悪いこと、悪いこととどちらが罪が重く思いますか？」という質問をされたことがあります。それはもう考えるまでもない、悪いと知っていながらする

ことの方がずっと悪いに決まっていると思いましたが。けれども、その先生は、

「それは、反対です」

とニコニコしながらおっしゃいました。

確かに悪いとわかっていながら行うことの方が刑罰や道義上の責任は重いかもしれません。しかし、悪いと知っていながらすれば、悪いことをしたという意識がかならずどこかに残っています。

そして、

「あんなことをしなければよかった」

と後悔するか、もしくは、

「あれはしかたがなかったのだ」

と開き直るしかありません。いずれにしても罪の意識にさいなまれています。

交通事故にたずさわる鑑識警察官が、

「ひき逃げ犯は、心のどこかで早く捕まえてほしいと思っているものです」と言われ、「だから犯人自身のためにも早く逮捕しなければ」と言っておられたことを思い出します。

けれども、自分が気がつかないうちに行ってしまった悪いことは、悪いことをしたという意識がありません。ですから悔いすることもありません。言葉を換えると、後悔しなければ、人は悪いとは感じないとも言えるでしょう。自分が悪いと気がついていないことはたいへん恐ろしいことではないでしょうか。

たいていの場合、自分が正しいと思っているもの同士が、争いになるものです。

「これだけしてやっているのにあいつはわかっている」とか、

「ここまで辛抱しんぼうしてやっているのに」

というように、「自分は悪くない」もの同士が争うのでしよう。私たちは、知らないうちにどれだけ人を傷つけているのでしょうか？ 気づかないうちにどれだけの悪を行っているのでしょうか？

仏教で「人間は罪深い」とか、「凡夫である」というのは、自分が悪いとわかっている程度のことを指していわれるの

ではありません。

最近はずっしの雨戸が多いですが、かつては木の雨戸がありました。ふとんをあげているとき、朝日が木の雨戸の節穴から漏れてきます。細長い光の中に、無数のチリが舞い上がっている光景を見たものでした。光が入っていないところは何も見えないのに、光が入っているところを見れば、こんなにほこりやチリがあつたのかと驚かされます。

仏さまの光に照らされれば、きっと自分では気がついていない想像もできないような無数の罪深い行為とその結果があるのだと感じられます。

そして、同時に、その無数のほこりやチリは、温かい光に包まれているのです。ほこりやチリの量に驚きながらも、節穴からこぼれる光の美しさ・温かさを感じたものでした。

仏さまに照らされて罪深さを歎きながら、それだからこそ救うという仏さまのお慈悲に抱かれている慶びがあるのです。また、仏さまに抱かれている慶びがあるにもかかわらず、自分中心から離れられないという歎きがあるのです。このように慶びと歎きとはワンセットなのです。

〔ひらがな真宗〕より

# 寺内だより

み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕

1月8日御往生

通津

村井 敏江様 (82)

喪主 村井 哲也様



ついたち礼拝(月のはじまりはお寺から)

3月1日(土)、4月1日(月)、5月1日(水)

午前9時より45分間

1月18日御往生

大阪

原多 淳様 (85)

喪主 原多 鈴乃様

1月18日御往生

大藤

村岡壽美子様 (85)

喪主 村岡 久男様

1月22日御往生

保津

赤崎 忠利様 (61)

喪主 赤崎しおり様

1月31日御往生

通津

中本 英明様 (72)

喪主 中本千代子様

1月31日御往生

南岩国

友重 貞子様 (87)

喪主 友重 憲文様

2月3日御往生

通津

市岡智恵子様 (97)

喪主 市岡 正己様

2月18日御往生

通津

松村 寿昭様 (64)

喪主 平木 幹夫様

## ●ご恩を偲びました

〔法事勤修〕(1月2日〜2月20日)

〔通津〕中崎圭司様3、谷林光夫様25、吉柴久夫

様3、岸井義成様33、村重悌夫様100、稲本恵美子

様3・25、故玉坪ヤス子様3・33、佐倉裕子様3、

井原義之様50、吉兼卓美様100、大田峻秀様25、〔保

津〕賀屋国昭様3、賀屋義則様3、〔青木〕広重

国衛様25、森上芳江様1・25・100、〔黒磯〕宮本

義明様50、〔藤生〕小笠原博様17、〔由宇〕福泉利

恵子様13、〔門前〕村岡房江様3、〔神奈川〕野村

真理様7

## ●ありがたくぞんじます

永代経志納

尊い永代経志を賜りました。謹んでお供えいたします。深く御礼申しあげます。

●三回忌・三十三回忌のご縁に

金壹百萬円也 通津 故 玉坪ヤス子様

●二十五回忌のご縁に

金壹拾萬円也 通津 大田 峻香様

## ●ご報告いたします

法要余香(報恩講法要 1月20〜22日)

お世話人の皆様、一年間有難うございました。総代様、法要総代様、仏婦理事様、若婦様、おみがき衆様、お餅つき衆様、おかざり衆様、お花立て衆様、ありがとうございます。講師の岡村先生。尊いご法縁でした。

【参詣者】20日:108名、21日(昼座)118名、(夜座)45名、22日98名。

【お供え】藤木増男様、河村アサ子様、白田憲光様、弘中祥彦様、多山博通様、野原千鶴子様、大下伸様、今西田鶴子様、多山義人様、藤井則枝様

## 3月30日 花まつり ー第3回光の祭典ー

お釈迦さまの誕生を祝い、専徳寺倶楽部が楽しい子ども会をひらいてくださいます。どうぞご参加ください。

時間 午後5時半〜7時

場所 専徳寺本堂

参加者 どなたでも(家族でどうぞ)

参加費 無料

内容 甘茶かけ、ゲーム、記念品、イルミネーション

